

調査資料

令和4年度会員駐車場調査

一般社団法人全日本駐車協会

会員駐車場調査は、次の3点を目的に実施しております。

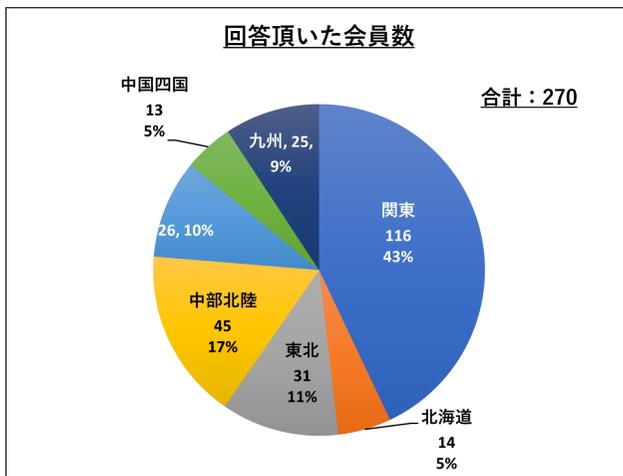
- ①会員の駐車場事業の実態を把握すること
- ②会員が興味を持っている内容について調べ、フィードバックすること
- ③調査結果を協会の調査研究・情報収集活動に活用すること

今般、令和4年度の調査結果がまとまりましたので報告いたします。

調査にご協力頂いた会員各社、取りまとめにご協力いただきました各地駐車協会事務局に誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

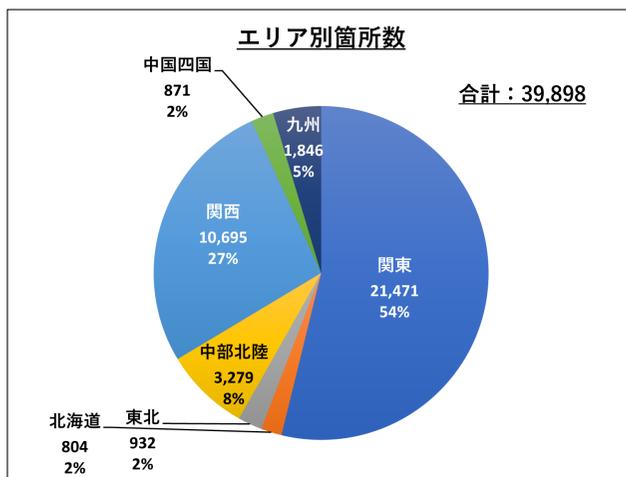
1. 調査時期 令和4年8月時点
2. 調査対象 全日本駐車協会
 - ・各地駐車協会正会員
(正会員が団体の場合にはその構成員を含む場合がある)
 - ・個人会員
3. その他 本調査は昭和58年より実施し、昨年度より調査内容の大幅な見直しを行いました。

1. 回答した会員数割合(エリア別)



2. 駐車場概要

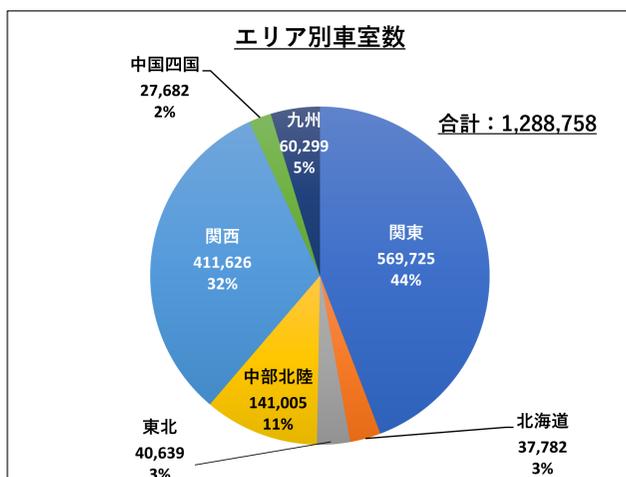
(1) エリア別の箇所数・車室数



エリア別に見た箇所数は、昨年度と同様の傾向(分布割合)にあるが、関東エリアが2ポイント増、関西エリアが3ポイント増となっている一方、九州エリアが2ポイント減、北海道、東北、中国四国エリアが1ポイント減となっている。

但し、これらの変動は会員の異動(入退会)よりも、回答を頂いた会員の違いの影響が大きい点に留意

が必要。なお、回答会員数は昨年度比39減であるが、箇所数は3,600箇所以上の増となっている。



エリア別に見た車室数も、昨年度と同様の傾向(分布割合)にあるが、関東エリアが4ポイント減となる一方、関西エリアが7ポイント増となっている。これは、関西エリアの会員からの回答が増えたことに加え、その会員の車室数が多かったことによる。実際、車室数の合計は昨年度に比べて11万車室以上増えている。

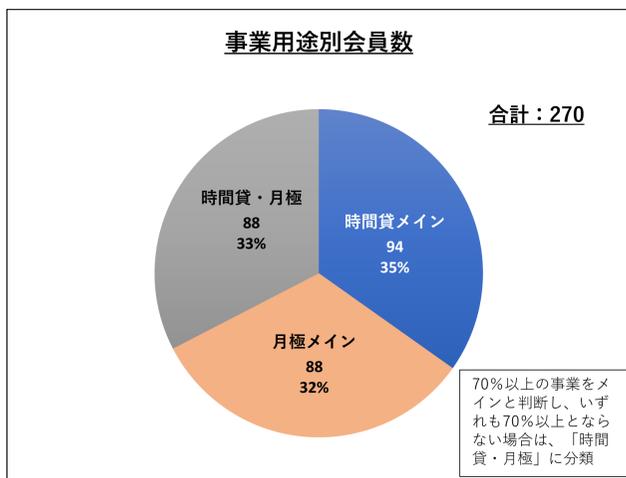
なお、1箇所当たりの平均車室数は

次表の通りで、全国平均は昨年度と変わらないが、エリアごとには変動がある。これも回答を頂いた会員の違いによる影響が大きいと考えられる。

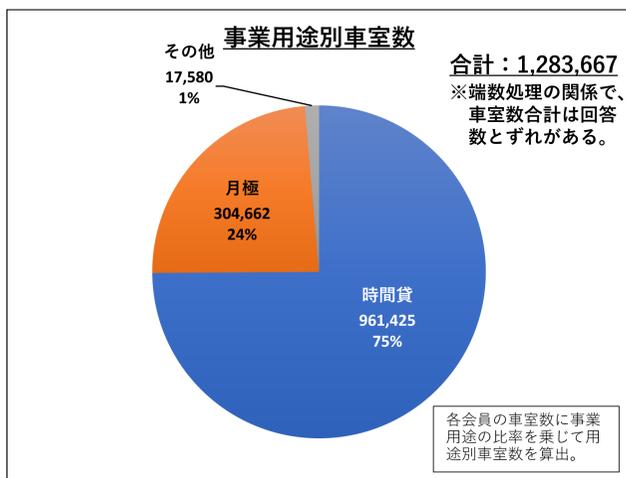
【1箇所当たりの平均車室数】

関東	北海道	東北	中部北陸	関西	中国四国	九州	全国平均
26.5台	47.0台	43.6台	43.0台	38.5台	31.8台	32.7台	32.3台

(2)事業用途別の会員数・車室数



事業用途別に見た会員数は、昨年度同様、ほぼ三等分される結果となった。但し、「用途を固定していない」等の理由で「その他」を100%と回答した会員は「時間貸・月極」に分類していることに留意が必要。



各会員の車室数に事業用途ごとの比率を乗じて、事業用途別に車室数を見ると、会員数で見た時と大きく比率が変わり、「時間貸」が75%となった。これは、大規模に駐車場の運営・管理を行っている会員(以下「大規模会員」という)が「時間貸」中心であるためである。なお、昨年度比で「時間貸」の割合が9ポイント減となっているが、回答を頂いた会員の違いと考えられる。

(3)法的分類(箇所数)

都市計画		届出		付置義務	
50会員	18.5%	98会員	36.3%	94会員	34.8%

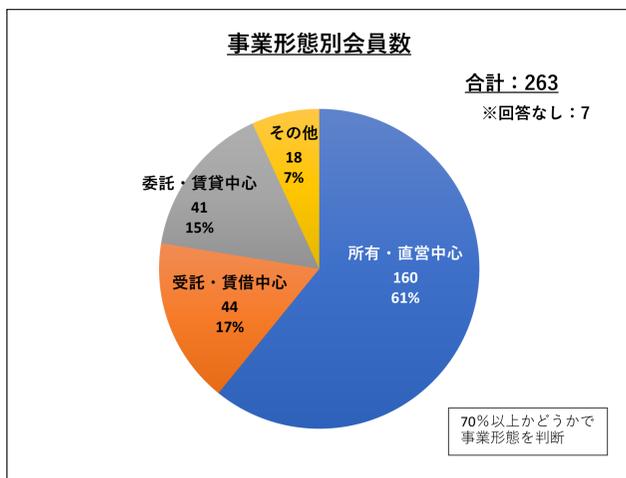
※重複回答有
※割合は回答数(270)に対する比率

(4)構造・形式(箇所数)

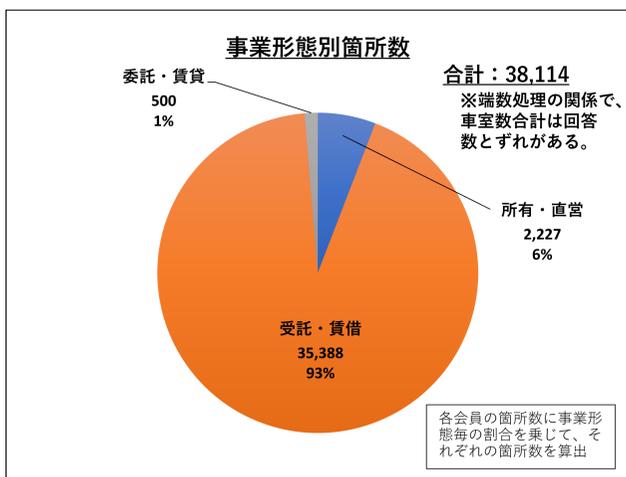
平地		自走式 (除く平地)		機械式	
131会員	48.5%	149会員	55.2%	111会員	41.1%

※重複回答有
※割合は回答数(270)に対する比率

(5)事業形態別の会員数・箇所数

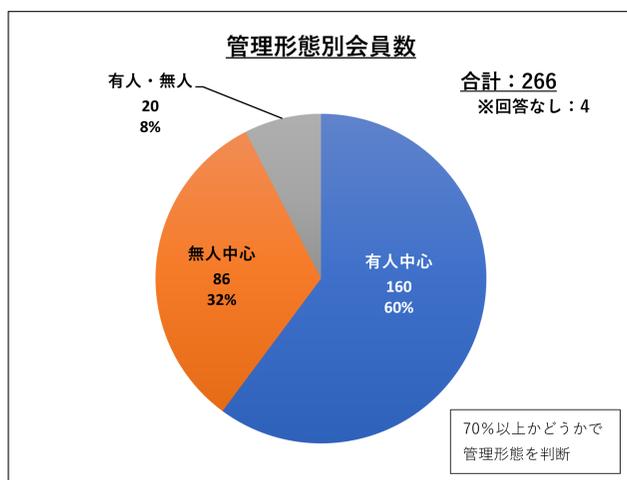


事業形態別に見た会員数は、「所有・直営中心」が61%と3分の2近くを占めている。なお、分布割合は昨年度とほぼ同様である。

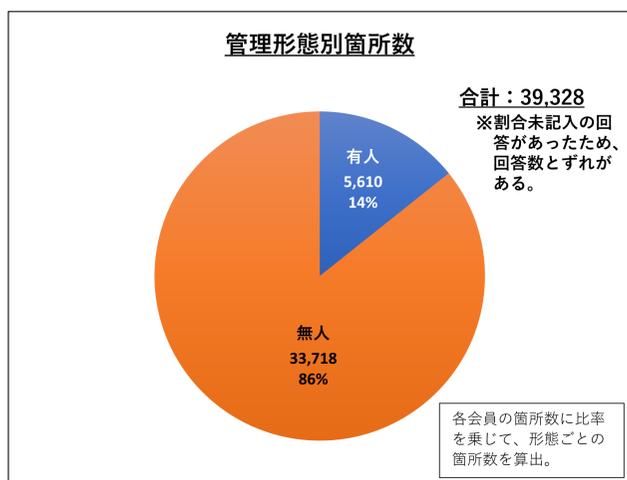


事業形態別に箇所数を見ると、会員数で見た時と大きく比率が変わり、「受託・賃借中心」が93%と大半を占めている。これは、大規模会員が「受託・賃借」中心であるためである。

(6)管理形態別の会員数・箇所数



管理形態別に見た会員数は、「有人中心」が60%と過半を占めており、有人中心と無人中心の比率はほぼ2：1(60%：32%)である。なお、昨年度と分布割合は変わらない。



各会員の箇所数に管理形態ごとの比率を乗じて、管理形態別に箇所数を見ると、会員数で見た時と大きく比率が変わり、「無人」が86%と大半を占めている。これは、大規模会員が「無人」中心であるためである。

3. 各種取組み

[注]「3. 各種取組み」においては、月極駐車場では一般的に導入しないと考えられる取組み(1)、(3)～(6)、(8)、(9))については、導入割合を計算する際に、月極駐車場の事業割合が100%の会員数やその箇所数を除外している。

(1)バリアフリー対応

	導入済会員数		導入割合
幅3.5mの車いす用スペース	83	35.9%	2.8%
通常幅の身障者等用スペース	88	38.1%	1.4%
動線のバリアフリー対応	65	28.1%	3.2%
身障者対応精算機	21	9.1%	0.6%

※導入割合は箇所数ベース

導入済会員数の割合は昨年度とほぼ同様である。

導入済会員数の割合に比べて箇所数ベースで見た導入割合は非常に低く、十分な対応がなされていない現状は変わっていないが、「幅3.5mの車いす用スペース」が1ポイント増、「通常幅の身障者用スペース」が0.8ポイント増、「動線のバリアフリー対応」が1.9ポイント増となっている。

(2)EV対応

①導入状況

	導入済会員数		導入割合
急速充電器	20	7.4%	0.2%
普通充電器（ポール型・スタンド型）	39	14.4%	2.8%
普通充電器（コンセント型）	32	11.9%	0.2%

※導入割合は箇所数ベース

導入済会員数の割合については、いずれの項目も昨年度比で1～2ポイント増加している。

②今後のEV対応

	会員数	
増やしていく、増やしている	23	8.5%
変わらない、方針未定	156	57.8%
減らしていく、減らしている	0	0.0%
回答なし	91	33.7%

今年度新設した質問であるが、10%弱の会員が「増やしていく、増やしている」と回答した一方、「変わらない、方針未定」という回答が半数以上を占める結果となった。このことから、EV充電器設置の機運は現時点ではそれほど高まっていない印象である。

なお、「回答なし」が3分の1もあったが、各種充電器を導入済の会員が答える質問と捉えられてしまった可能性が考えられる。

③②の設問で「増やしていく」「増やしている」と答えた会員が増やす充電器

	会員数	
	急速充電器	7
普通充電器（ポール型・スタンド型）	12	57.1%
普通充電器（コンセント型）	2	9.5%

※未回答2件

今後「増やしていく」「増やしている」充電器としては「急速充電器」が3分の1、「普通充電器」が3分の2となっている。なお、「普通充電器」のうち「ポール型・スタンド型」が86%と大半を占める。

(3)料金対応

	導入済会員数		導入割合
	短時間料金無料	56	
上限最大時間の設定	157	68.0%	
夜間料金の設定	122	52.8%	
変動制料金	14	6.1%	
提携店舗割引対応	128	55.4%	

※導入割合は箇所数ベース

いずれの項目も、導入済会員数の割合は昨年度同様の傾向であるが、数ポイント増加している。また、「短時間料金無料」「変動制料金」は、導入している会員数割合よりも箇所数割合の方が数値が著しく低く、大規模会員が導入していない傾向にあることも同様である。

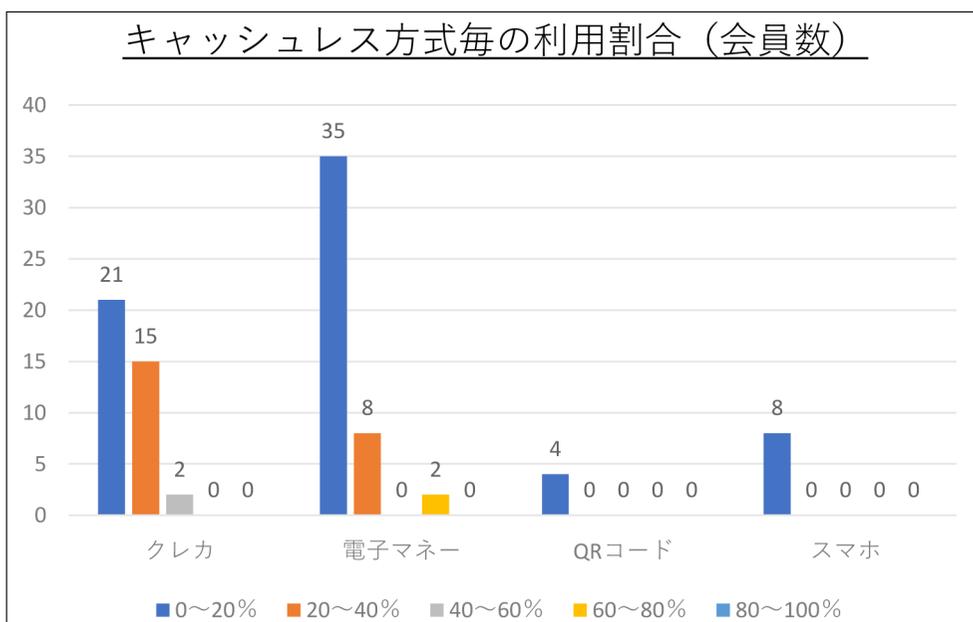
(4)キャッシュレス対応

	導入済会員数		導入割合
	人数	割合	
クレジットカード対応精算機	69	29.9%	47.2%
電子マネー対応精算機	72	31.2%	41.5%
QRコード対応精算機	11	4.8%	0.1%
スマホ決済	13	5.6%	25.4%

※導入割合は箇所数ベース

導入済会員数の割合は昨年度と同様の傾向にあるが、いずれの項目も1~4ポイント増加している。

QRコード対応精算機の箇所数ベースの導入割合が非常に低いのも昨年度と同様である。なお、導入している会員数割合よりも箇所数割合の方が数値が高い項目は、大規模会員が導入している傾向があるためである。



いずれの項目も昨年度と同様の傾向で、クレジットカード決済と電子マネー決済は比較的に利用されているが、QRコード決済とスマホ決済は利用率が非常に低い。

※利用割合未記入の回答があったため、方式毎の会員数合計は導入している会員数と一致していない。

(5)入出庫管理方式

	導入済会員数	
車番認証連動ゲート	64	23.7%
車番認証ゲートレス	14	5.2%
カメラ認証フラップレス	16	5.9%
スマホアプリ決済連動ゲート	2	0.7%
スマホアプリ決済連動フラップ	4	1.5%
ETC連動ゲート	6	2.2%

昨年度と同様、車番認証連動ゲート以外の管理方式は押しなべて導入割合が低く、導入しているのは主として大規模会員となっている。なお、車番認証ゲートレスの導入が、6会員から14会員に増加している。

(6)予約駐車対応

	導入済会員数		導入割合
自社独自の予約システム	11	4.8%	4.6%
他社の予約システムとの提携	46	19.9%	1.5%

※導入割合は箇所数ベース

昨年度と同様、自社、他社を問わず、箇所数ベースの導入割合は低い。また、他社との提携については、導入している会員数割合に比べて箇所数割合が低くなっているが、主として大規模会員の提携箇所数が限定的であることによる。

(7)自動二輪車対応

	導入済会員数		導入割合
自動二輪車対応	77	28.5%	2.3%

※導入割合は箇所数ベース

導入済会員数の割合は3ポイントほど上がったが、依然として30%を切っている。会員数ベースの導入割合に比べて箇所数ベースの導入割合がかなり低くなっているが、大規模会員の導入割合が低いことによる。

(8)カーシェア対応等

	導入済会員数		導入割合
カーシェア	65	28.1%	14.2%
シェアサイクル	16	6.9%	0.1%
電動キックボード	4	1.7%	0.0%

※導入割合は箇所数ベース

今年度新設した質問である。

「カーシェア」については導入済の会員が28.1%と4分の1強の会員が導入しているが、箇所数ベースでは14.2%であり、大規模会員の導入が少ない傾向が窺える。「シェアサイクル」「電動キックボード」は導入済会員数割合で1桁台、箇所数ベースでは1%未満と、導入割合は非常に低いのが現状であるが、駐車場のハブ化の萌芽と考えられる。

(9) 駐車場検索アプリ等対応

① 自社駐車場検索アプリ

	導入済会員数		うち満空表示有り	
自社駐車場検索アプリ	20	8.7%	17	85.0%

今年度新設した質問である。

自社の駐車場検索アプリを導入している会員は8.7%と少数である。そのうち満空表示のあるアプリは85%と高い割合となっているが、大規模会員の導入が多いため、満空も表示できるシステムが多いものと考えられる。

② 外部の駐車場検索アプリの利用状況について

今年度新設した質問である。

多種多様な駐車場検索アプリが利用されていることが確認できた。利用されている検索アプリには、次の2つのタイプが確認できた。

- ・ 広範囲をカバーするアプリ (NAVITAIME、Appleマップ、Googleマップ、iPOSNET、タイムズ駐車場検索、Yahoo!カーナビ、等)
- ・ 地域系アプリ (s-park、横浜市内駐車場案内システム、天神パーキングドットネット、名古屋パーキングナビ、等)

なお、質問内容がわかりにくく有効回答数が限定的であったため、導入済会員数等の数値の公表は控えさせていただく。

5. その他、駐車協会に対するご要望等、自由にご記入下さい。

① 駐車場運営管理上の困りごと等について以下のような記載がありました。

これらの内容を含め、引き続き情報収集・発信に努めてまいります。

- ・ アイドリング防止対策
- ・ 喫煙・騒音対策
- ・ スケートボード防止対策
- ・ 不正駐車対策
- ・ EV充電設備の利用マナー徹底(充電終了後の車両放置など)
- ・ 人件費増対応、コロナ感染によるスタッフ不足対応

② 協会主催研修会等のビデオ配信の希望がありました。

協会では、昨年8月開催のオンラインセミナーについて実験的にビデオ配信を行っており、これからも新春駐車場研修会等でビデオ配信を予定しております。

③ 今回の会員駐車場調査の結果を含め、駐車場関連の情報発信を引き続き積極的に行ってもらいたいとの要望が多数ありました。

これからも情報収集に努め、機関紙、ホームページ、研修会等で積極的に発信してまいります。なお、メールアドレスを登録していただくと、協会からの情報発信内容を適宜確認

できます。メールアドレス未登録の方は、ご登録をお願いいたします。

④会員駐車場調査の回答方式として「Web」方式を導入すべきとの意見がありました。

次回調査より、Web回答・FAX回答をお選びいただけるハイブリッド方式の調査を採用してまいります。